

ホームページ掲載内容

同意の取得について（観察研究の場合）：

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第8の1(2)の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名：

網膜硝子体疾患に対する治療のアウトカムおよび合併症などについての後方視的研究

研究責任者： 眼科 平塚義宗
研究分担者： 眼科 村上 晶
眼科 中尾新太郎
眼科 山本修太郎
眼科 平形寿彬

研究の意義と目的：

網膜硝子体疾患は眼球後部の網膜や硝子体に異常を来す疾患であり、主なものとして網膜剥離や硝子体出血、黄斑前膜、黄斑円孔などが挙げられる。当院においては年間500件程度の手術が行われており、白内障手術に次ぐ件数を占めている。また、硝子体内への薬物注入は年間1,900件程度実施されており、眼科治療において重要な部分を占めている。網膜硝子体の異常はそのまま視機能の異常につながるため治療のアウトカム評価や合併症、それらに関連する要因の検討は非常に重要な研究課題である。

観察研究の方法と対象：

本研究の対象となる患者さんは、当院眼科で西暦2010年1月1日～2023年12月31日の間に網膜硝子体関連の疾患に対して治療を行った方です
利用させていただくカルテ情報は下記です。

診断名、年齢、性別、身体所見、眼科検査結果

研究解析期間：西暦2017年3月24日 ～ 西暦2026年3月31日

被験者の保護：

本研究に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言（2013年10月WMA フォルタレザ総会[ブラジル]で修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2021年3月23日）に従って本研究を実施します。

個人情報の保護：

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。
また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。

利益相反について：

本研究は、眼科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

お問い合わせ先：

順天堂大学医学部附属順天堂医院 眼科

電話：03-3813-3111

研究担当者：平塚義宗